

島根大学病院休日人間ドックのご案内

当院では忙しい医師会会員の皆様の手助けになることを願い、休日人間ドックを9月14日(日)と10月5日(日)の2日間行います。基本コースとオプションコースがありますが、基本コースは腫瘍マーカーも含まれています。当院の人間ドックを受検し、健康なワークライフを送っていただきますようお願いいたします。

なお、詳細につきましては下記まで問合せください。

問合せ先 臨床検査科 TEL(0853)20-2559



がん患者・家族サポートセンターを開設しました!

当センターは、がん患者さんやそのご家族が、病気と向き合いながら自分らしい生活を送ってもらうための相談支援体制の充実を図ることを目的に4月に開設いたしました。

ピアサポーターによる相談会、就労相談会、県内がん相談員等の研修会の企画実施を行います。また、当院がん相談支援センターも併設しています。院内・院外の方を問わず、ご相談をお受けしています。

問合せ先 がん患者・家族サポートセンター TEL(0853)20-2518・2545

お盆期間の休診日について

8月

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

当院では平成19年度からお盆の8月13日から15日の3日間を休診日としてきましたが、本年度は8月15日(金)のみを休診日とすることとしましたのでお知らせします。

なお、平成27年度以降の取り扱いにつきましては決定次第お知らせします。



NEWS

CONTENTS

地域とともに、チームで築く感染対策

粟屋 幸一 ICT代表に聞く

新たに先進医療2件がスタート

- IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価 (C型慢性肝炎 (インターフェロン・リバビリン併用療法による効果が見込まれるものに限る))
- コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法

島根大学病院休日人間ドックのご案内

がん患者・家族サポートセンターを開設しました!

お盆期間の休診日について



「地域とともに、チームで築く感染対策」

あわや ゆきかず
粟屋 幸一 ICT代表に聞く



あわや ゆきかず
粟屋 幸一
ICT代表
病院医学教育センター 副センター長・准教授

Profile

■資格
総合内科専門医
呼吸器専門医・指導医
感染症専門医・指導医
ICD(インフェクション・コントロール・ドクター)

■専門領域
呼吸器内科
感染症

病院医学教育センター 粟屋 幸一 准教授が、当院の感染対策チーム(ICT)代表に就任しました。粟屋 ICT 代表は、日本感染症学会専門医・指導医と ICD(インフェクション・コントロール・ドクター)の資格を取得しています。今回は粟屋 ICT 代表にインタビューを行い、今後当院で行っていききたいことなどを聞きました。

Q. 先生は、平成 26 年 4 月から当院 ICT 代表に就任されました。代表として、当院において今後取り組まねたいことをお聞かせください。

A. 島根大学医学部附属病院 ICT は、今日までの地道な活動により素晴らしい成果をあげて来られました。それを継承する一方、私が今までに蓄積して来た、色々な病院での感染症診療、ICT 活動の経験を生かして、多職種の皆さんに感染制御(インフェクションコントロール)活動の理解を広めて行きたいと思います。また若手医師の中から感染症専門医を目指す医師が出て来てくれれば、と願っています。

Q. 地域の医療機関の方々とともに、今後取り組まねたいことをお聞かせください。

A. ICT 活動は多くの病院で行なわれています。しかし感染制御は一つの病院だけで行っても効果は充分ではありません。「地域としての感染管理」も重要だと考えています。そのために、県内の多くの病院が集う感染症に関する勉強会や、相互乗り入れによるコンサルテーションの機会も大いに利用したいと思います。1つのモデルケースとして北九州地区に KRICT というチームがあります。K は北九州、R は Region (地域) の略です。つまり、地域で感染制御に取り組む、という試みです。島根県でもこういった取り組みが有効だと思います。島根の場合、SRICT(S は島根の S ですね)でしょうか。

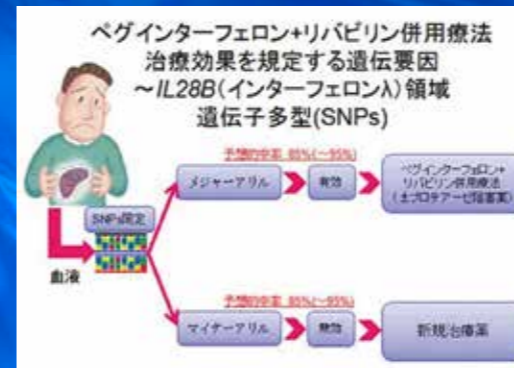
問合せ先 感染対策室 TEL (0853) 20-2483

新たに先進医療 2 件がスタート

肝臓内科

IL28Bの遺伝子診断による
インターフェロン治療効果の予測評価 C型慢性肝炎
(インターフェロン・リバビリン併用療法による効果が見込まれるものに限る)

肝臓内科 診療科長 佐藤 秀一



C型肝炎は肝がんと最も関連のある疾患で、C型肝炎ウイルス(HCV)の排除が肝臓がんを予防する有効な手段であることがわかっています。HCVを排除するために用いられるのがインターフェロンですが、この治療効果を規定する因子として、HCV側因子(血液中のHCV RNA量やHCV遺伝子型など)、治療側因子(治療期間や他の抗ウイルス薬との併用など)、宿主側因子(年齢、基礎疾患、肝線維化など)があります。近年、これらの因子に加えて、一塩基多型(SNP : Single Nucleotide Polymorphism)が、C型肝炎のインターフェロンを用いた治療できわめて重要な因子であるということがわかりました。これがIL28B遺伝子多型で、インターフェロン治療効果予想を約9割的中させる血液検査法です。

この検査が必要な方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

問合せ先 肝臓内科医局 TEL (0853) 20-2190

腎臓内科

コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法

腎臓内科 診療科長 伊藤 孝史

コレステロール結晶塞栓症(CCE)は、血管内操作や抗凝固療法などの誘因を契機に、大動脈内の粥腫が破綻し、コレステロール結晶がシャワー様に散布され、腎、皮膚など全身の末梢動脈を閉塞することにより発症し、下肢痛、網状皮斑が特徴的で、末梢動脈触知不可能、進行性腎不全にいたる場合があります。

治療の目的は、血管拡張などによる血流の改善、抗炎症、免疫抑制、ブランクの安定化で、有効な治療法としては、抗凝固剤の中止、ステロイド療法、スタチン投与、LDL吸着療法(LDL-A)などがあり、当院でもLDL-Aの有効性を報告しています。

今回、先進医療の承認を受けましたので、適応拡大を進めていきたいと考えています。

この治療の適応患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介ください。



血液浄化装置

問合せ先 腎臓内科医局 TEL (0853) 20-2122



緩和ケア病棟について

緩和ケアセンター 教授 なかたに 中谷 としひこ 俊彦

当院の緩和ケア病棟は、大学病院としての緩和ケアを専門的に行っている病棟ですが、緩和ケアを必要とする患者さんにお気軽に緩和ケアを受けていただくことを大切に考えています。

入棟ご希望の患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。

- 主に悪性疾患による苦痛でお困りの方(体の痛み、呼吸困難感、嘔気・嘔吐、不安・うつ等々)にお気軽に入棟していただけます。
- 緩和ケアを専門とする病棟担当医が診療しています。
- 全室個室でプライバシーを尊重した快適な療養環境の提供に配慮しています。
- 身体や気持ちのつらさを和らげて、より穏やかに過ごしていただくよう日々を大切にします。

☆ 緩和ケア病棟への入院についてご相談に応じますので
ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

問合せ先 島根大学医学部附属病院地域医療連携センター
TEL: 0853-20-2193(平日9-17時)
島根大学医学部附属病院緩和ケア病棟
TEL: 0853-20-2615(時間外・休日)



特別室



談話室



花壇



学生ボランティアコンサート





号外

胃がん検診、大腸がん検診の 精密検査・専門外来をはじめます！

消化器内科 診療科長 きのした よしかず 木下 芳一

当院では、この度胃がんや大腸がんの検診を受けられ要精密検査との診断を受けられた方を対象に、完全予約制の精密検査専門外来の診療を7月から開始することといたしました。

胃がんや大腸がんの検診で要精密検査の診断を受けられた方で精密検査を希望される方がいらっしゃいましたら以下の要点をご説明いただきご紹介ください。

【受診の要点】

受診を希望される方は、要精密検査を知らせる健診センターや市町村からのハガキなどをお持ちになり当院地域医療連携センターにご相談ください。完全予約制ですので必ず地域医療連携センターに連絡をいただき予約を取ってから受診をしてください。

本専門外来は水曜日の午後1時からとなります。初診の日には診察をさせていただき、どのような精密検査が必要かの判断をいたします。内視鏡検査などの精密検査は別の日に行いますので、初診の日は絶食での来院は必要ありません。お薬手帳があれば持参してください。

胃がんや大腸がんの検診で要精密検査を指示されたのちに放置しておくことは危険ですので、この外来をご利用いただき精密検査を受けてください。

問合せ先

島根大学医学部附属病院地域医療連携センター
TEL 0853-20-2061・2068
FAX 0853-20-2063





島大病院ニュース
2014年06月

お知らせ

島大病院では 幅広い疾患領域に対する 治験を実施しています!

当院は、治験推進施設として、内科・皮膚科・外科・泌尿器科・精神科・眼科・麻酔科など、様々な領域の治験を実施しています。

治験に関する情報は、ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/tiken/toppage> で公開していますが、創薬ボランティア(治験にご協力いただける方)を募集中の治験などについて、一部、ご紹介いたします。

～腫瘍・血液内科領域～



試験名	対象疾患	診療科	主な選択基準	主な除外基準	治験参加期間	募集期間(予定)
日本人再発・難治性末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)患者を対象としたフォロデシンの第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験	再発・難治性末梢性T細胞リンパ腫	腫瘍・血液内科	<ul style="list-style-type: none"> □組織学的に末梢性T細胞リンパ腫と診断された患者 □1レジメン以上の抗悪性腫瘍剤による治療歴を有し、直近の治療でPR以上の効果が得られた再発または難治性患者 □CT計測で、直交する2方向で明確に測定でき、かつ長径が1.5cmを超える腫大リンパ節または節外性腫瘍病変を有する患者 □3か月以上の生存が期待できる患者 □ECOG PSが0~1の患者 	<ul style="list-style-type: none"> □脳転移または中枢神経系病変を有するまたは既往歴のある患者 □活動性の重複がんを有する患者または過去5年以内に末梢性T細胞リンパ腫以外の悪性新生物の発現の既往のある患者 □重度な心血管系疾患を有する患者 □先天性QT延長症候群の患者 □HBs抗原、HCV抗体またはHIV抗体のいずれかが陽性を示す患者もしくはHBs抗体またはHbc抗体が陽性で、かつHBV-DNA定量検査が検出感度以上の患者 □免疫学的検査において、CMV抗原陽性を示す患者 □間質性肺炎、肺線維症を有する患者、または十分な肺機能がないと判断される患者 	中止基準に該当するまで	平成26年7月末まで
SyBC-1101の骨髄異形成症候群に対する第Ⅰ相臨床試験	骨髄異形成症候群	腫瘍・血液内科	<ul style="list-style-type: none"> □組織学的または細胞学的に骨髄異形成症候群と診断されている患者 □先行治療で、1)完全寛解・部分寛解または血液学的改善に至らなかった患者、2)完全寛解・部分寛解または血液学的改善後に再発・再燃した患者、3)肝障害・腎障害などが発現し投与中止に至った不耐容の患者 □前治療から4週間以上無治療期間のある患者 □3か月以上の生存が期待できる患者 □ECOG PSが0~2の患者 □主要臓器の機能が十分に保持されている患者 	<ul style="list-style-type: none"> □MDS以外の要因による貧血を有する患者 □低形成(骨髄細胞密度<10%)の患者 □重篤な既往症・合併症、心疾患、消化器症状、出血傾向を有する患者 □HBs抗原またはHIV抗体陽性を示す患者 □治療を要する胸水・腹水の貯留又は低ナトリウム血症を有する患者 	スクリーニング期間:最大4週間、投与期間:1サイクル通常3週間、最大6サイクルまで(最大38週間)。その後、観察期間として2015年3月31日まで定期的に状態を確認。	平成27年3月末まで

該当する患者さんがおられましたら、ぜひ、当院へご紹介いただきますようお願いいたします。

問合せ先 臨床研究センター治験管理部門

TEL : 0853-20-2492 FAX : 0853-20-2495 E-mail : tiken@med.shimane-u.ac.jp



平成26年6月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2014年06月

お知らせ

救急医学講演会

外傷初期診療

講師：渡部 広明 先生
泉州救命救急センター
Acute care surgery センター長
外傷外科部長

渡部先生は島根医大のご出身で、外傷治療のスペシャリストとしてご活躍中です。

外傷の初期診療についてお話をさせていただきますので、初期・後期研修医、医学生だけでなく、外傷診療に携わる学内外の皆様も是非ご参加ください。

と き 平成26年6月19日（木）18：00～19：00

ところ 臨床講義棟小講堂

申 込 申込の必要はありません。

※島根県医師会指定の生涯教育講座 **2** 単位 です。

主催：島根大学医学部医師会
共催：島根大学医学部救急医学教室

TEL / FAX：0853-20-2402

E-mail：qqigaku@med.shimane-u.ac.jp

お知らせ

島大病院ニュース

平成26年6月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

